

建設分野特定技能 1号評価試験（土工）

実技試験 要領

1. この要領は、実技試験の課題です。
2. 試験に使用する道具は、剣先スコップ、角スコップ、レーキ、機械はプレートコンパクタです。
3. 施工図を参照しながら、この実技試験 要領をお読み下さい。
4. 全体作業時間及び締固め作業時間を計測します。

基準とする全体作業時間、制限時間及び締固め作業時間を下表のように設定しています。この基準時間からの差分量によって減点します。また、制限時間は、全体作業時間を制限するもので、これを超過すると試験を停止します。

全体作業時間は、試験官の開始の合図から受検者の作業終了の合図までで、締固め作業時間はプレートコンパクタのエンジン始動からエンジン停止までです。

	全体作業時間	制限時間	締固め作業時間
時 間	5.0分～6.0分	13.0分	1.0分～2.0分

実技試験 要領

(1) 試験開始

試験官の試験開始合図を受けて試験を開始する。作業区域に入る前に作業区域周辺の安全確認を実施する。

(2) 道具の選択

作業を開始する前に土の敷き均しに使用する道具を選択し、作業区域へ移動する。

(3) 敷均し作業

作業区域の中央にほぐした土砂の山（長さ 1.5～2m、幅 1～1.5m、高さ 40cm 程度）が設けられている。この土砂の山を敷き均して、4 本のポールの内側（1 m × 1 m）に締固め後に高さ H=5cm 以上になるような平場を作る。

(4) プレートコンパクタの始動

プレートコンパクタのエンジン始動前点検を実施した後、エンジンを始動させる。

(5) 締固め作業

プレートコンパクタを締固め範囲に移動し、4 本のポールに挟まれた範囲（1 m × 1 m）以上の平場を作る様に締め固める。締固めは、締固め範囲を均等に 2 回締め固める。

(6) プレートコンパクタの停止

プレートコンパクタを置き場に移動し、エンジンを停止する。

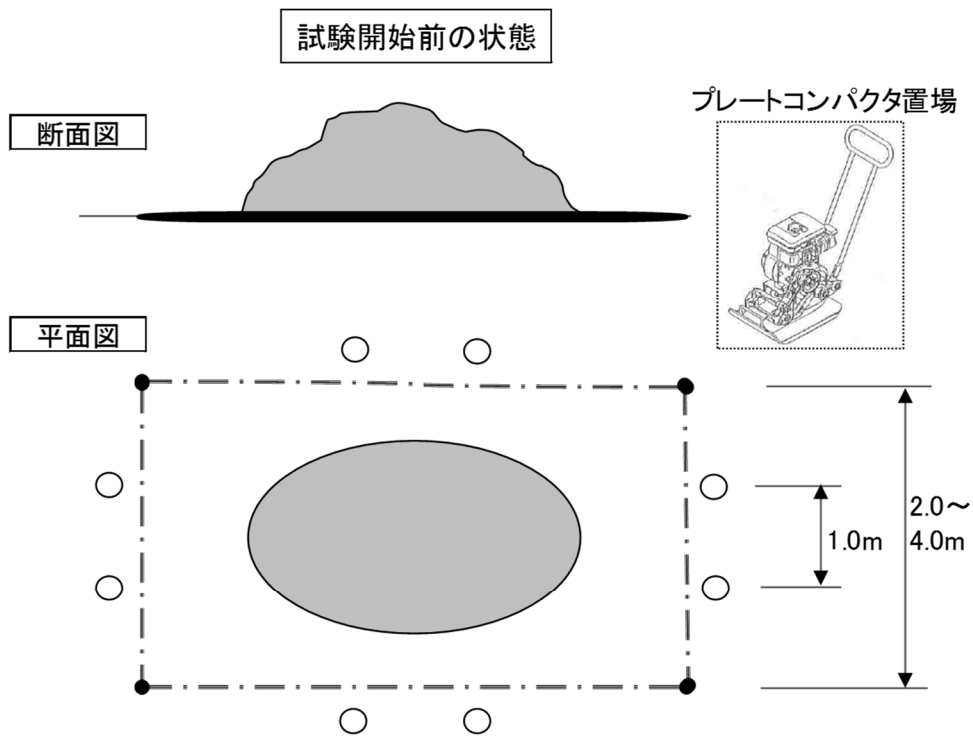
(7) 試験終了

作業区域周辺の安全確認を実施する。その後、試験官に作業終了の報告をする。

以上

建設分野特定技能 1 号評価試験（土工）

建設分野特定技能 1 号評価試験（土工） 実技試験 施工図



使用道具： 剣先スコップ、角スコップ、レーキ

